

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 11 日現在

機関番号：12201

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2011～2014

課題番号：23243078

研究課題名(和文) 芸術教育文献のアーカイピングに関する還元的研究

研究課題名(英文) Reducing Study on Archiving of Arts-Education Literature

研究代表者

山口 喜雄 (YAMAGUCHI, Nobuo)

宇都宮大学・教育学部・教授

研究者番号：90292573

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 31,900,000円

研究成果の概要(和文)：(1)『芸術教育文献解題ブックレット：英日対訳』2012・2013刊行 (2)雑誌論文72、国内外での学会発表55、図書5 (3)アジア・欧米・オセアニア・アフリカの13ヶ国・地域の学校・美術館等に国際調査と研究成果の還元 (4)宇都宮大学で映画会・シンポジウム等を5回実施 (5)『美術教育の世界ドキュメント2015+日本美術科教科書研究2015+芸術教育文献解題ブックレット2014・2015』刊行 (6)英日対訳Webサイト「アーカイピング研究会」<http://www.ae-archiving.jp/art-e/>で情報発信

研究成果の概要(英文)：(1) The members published Abstract Booklet on Arts-Education Literature 2012 and 2013 [English-Japanese parallel translation], and used them in their classes or distributed them at academic conferences. (2) 72 papers on journals, 55 research presentations at academic conferences at home and abroad, and 5 books. (3) International research was conducted at a number of schools and art museums of 13 countries/regions. The research results were shared with those schools and museums. (4) Lectures, appreciation of paintings, and symposium were done five times at Utsunomiya University. (5) The members published World Documents on Art Education, 2015 + Study on the Works Introduced in Art Textbooks + Abstract Booklet on Arts-Education Literature, 2014/2015. (6) The members created an English-Japanese parallel translation website named Art Education Documents Archiving Society <http://www.ae-archiving.jp/art-e/> and transmit information.

研究分野：美術教育学

キーワード：芸術教育 美術教育 美術科教科書 アーカイピング 文献解題 国際調査 還元的研究 ブックレット

1. 研究開始当初の背景

本研究で扱うアーカイブス (archives) とは学習指導要領や教科書など公文書・公的記録、アーカイブ (archive) とは個人や民間教育団体関係の著作、あるいは複数のファイルを一つにまとめたものをさす。

2004 年度開始の初期研究「日本の美術教科書・美術教育文献資料のアーカイブ化に関する研究」平成 16-18 年度基盤研究 B 課題番号 16330172 代表：山口喜雄 + 分担者 4 名 は、美育文化協会所蔵「熊本文庫」を基に日本の大正・昭和初期及び第二次大戦直後の美術教科書ならびに美術教育関係文献資料 (以下、美術教育文献と記す) における空白部分のアーカイブ化を行った。

2007 年度からの前研究「美術教育文献のアーカイビングに関する発展的研究」平成 19-22 年度基盤研究 A 課題番号 19203036

代表：山口喜雄 + 分担者 7 名 は、初期研究で構築したデータの更新と日英対訳の推進、美術教育文献 Web サイト構築、未来を見据えた国際的に現在進行しているアーカイブ化の調査・研究 (以下、アーカイビングと記す) へと研究を進展させた。

2. 研究の目的

それら 7 年間の研究成果を基に 2011 年度から本研究に取り組み、教員養成学部生・小中学校等教員・世界各地の学校や美術館関係者への研究成果の還元が目的である。

3. 研究の方法

- 1) 本研究 Web サイトの公知と更新、
- 2) 国際調査や国際美術教育学会 (InSEA) メルボルン世界大会での学校・美術館等関係者への研究成果 [英日対訳] の手渡しと解説、
- 3) 学会等における研究発表と論文の執筆、
- 4) 『芸術教育文献解題ブックレット』の刊行と頒布、
- 5) 海外美術教育関係者の招聘講演会、
- 6) シンポジウム・美術教育映画会等の開催、
- 7) 『20 世紀後半以降の日本美術科教科書研究 [日英対訳]』刊行、社会的還元を企図。

4. 研究成果

代表者 1・分担者 9・連携研究者 10、計 20 名が後記の多様な研究成果を教員養成学部生・小中学校等教員・一般に公知や頒布、国内外にて研究成果を還元した。

- (1) 報告書『芸術教育文献解題ブックレット：英日対訳』2012・2013 を刊行・頒布
- (2) 雑誌論文 72、学会発表 55、図書 5
- (3) アジア、欧米、オセアニア他 13ヶ国・地域を訪問、面談調査と研究成果の還元
- (4) 宇都宮大学における講演・映画会・シンポジウム等を 5 回、東京国立近代美術館にて全米美術教育学会会長の招聘講演実施、

(5) 報告書『美術教育の世界ドキュメント 2015 + 日本美術科教科書研究 2015 + 芸術教育文献解題ブックレット 2014・2015』を刊行

(6) 英日対訳 Web サイト「アーカイビング研究会」<http://www.ae-archiving.jp/art-e/>

5. 主な発表論文等

[雑誌論文] (計 72 件)

01 山口喜雄、戦後の美術科教科書における掲載作品の研究 (16) - 「国際化」と美術教育に関する考察、日本美術教育研究論集、査読有、48 号、2015、79-88

02 山口喜雄・新関伸也・天形健、アテネ (ギリシャ Greece 共和国) における美術教育事情調査 2014、日本美術教育研究論集、査読有、48 号、2015、207-214

03 佐藤昌彦、次世代『ものづくり教育のカリキュラム構想』への助走』授業に関する考察から、美術教育学、査読有、36 号、2015、193-205

04 佐藤昌彦、アイヌ文化振興・研究推進機構出版助成図書『父からの伝言』の教育的意義に関する考察、日本美術教育研究論集、査読有、48 号、2015、23-33

05 本田悟郎、美術館ワークショップにおける子どもの造形表現と創造性、美術教育学研究、査読有、48 号、2015、335-342

06 田和真紀子、中世後期から近世初頭における高程度を表す副詞の諸相、国語語彙史の研究、査読有、34 巻、2015、243-260

07 山口喜雄・石野健二・茅野理子・中島望・田和真紀子・株田昌彦・山田有希子・本田悟郎、芸術教育文献解題 4、宇都宮大学教育学部紀要第 1 部、査読無、65 巻、2015、167-176

08 山口喜雄、戦後の美術科教科書における掲載作品の研究 (15) - 「高齢化」と美術教育に関する考察、日本美術教育研究論集、査読有、47 号、2014、131-142

09 新関伸也・天形健・山口喜雄、H・リード卿令息ベン・リード氏への面談調査をめ

- ぐって、日本美術教育研究論集、査読有、47号、2014、217-224
- 10 安東恭一郎・金政孝、科学と芸術の融合による教育の可能性と課題、美術教育学、査読有、35号、2014、61-77
- 11 安東恭一郎、美術活動における芸術経験の意味、文化、3回アジア文化芸術教育国際会議、査読有、1巻、2014、35-57
- 12 安東恭一郎・金政孝、美術教育課程の再構築と現代化、美術教育学研究、査読有、46号、2014、5-12
- 13 田和真紀子、程度副詞体系の変遷 - 高程度を表す副詞を中心に、日本語史の新視点と現代日本語、査読有、1巻、2014、67-81
- 14 山口喜雄・渡邊弘・石野健二・茅野理子・渡辺浩行・中島望・田和真紀子・村松和彦・株田昌彦・山田有希子・本田悟郎、芸術教育文献解題 3、宇都宮大学教育学部紀要第1部、査読無、64巻、2014、165-177
- 15 山口喜雄、戦後の美術科教科書における掲載作品の研究(14) - 「情報化」と美術教育に関する考察、日本美術教育研究論集、査読有、46号、2013、63-72
- 16 Dr. F. Robert Sabo (全体編集：結城孝雄・山口喜雄)、全米美術教育学会(NAEA)会長口パート・セイボル博士来日講演会の記録、日本美術教育研究論集、査読無、46号、2013、165-189
- 17 安東恭一郎、芸術と科学の融合に基づくSTEAM教育への期待と可能性、韓国美術教育学会誌、査読有、27号、2013、123-157
- 18 安東恭一郎、美術教育と著作権法() Web 管理下における美術著作物の利用の可能性と契約、美術教育学、査読有、34号、2013、49-60
- 19 安東恭一郎、美術教育の解体と融合、韓国初等教育美術教育学会誌、査読有、1巻、2013、37-43
- 20 安東恭一郎・金政孝、美術デジタル教科書の課題と展望、韓国初等教育美術教育学会誌、査読有、1巻、2013、7-12
- 21 安東恭一郎・金政孝、日韓のデジタル教科書利用にむけた現状と課題(1)、大学美術教育学会誌、査読有、45号、2013、15-22
- 22 田和真紀子、成立過程から見た高程度を表す評価的な程度副詞の特徴、都大論究、査読有、50巻、2013、1-12
- 23 山口喜雄・石野健二・茅野理子・中島望・田和真紀子・村松和彦・株田昌彦・山田有希子・本田悟郎、芸術教育文献解題2、宇都宮大学教育学部紀要第1部、査読無、63巻、2013、181-193
- 24 山口喜雄、戦後の美術科教科書における掲載作品の研究(13) - 「伝統文化」の記述と掲載作品に関する考察、日本美術教育研究論集、査読有、45号、2012、51-62
- 25 山口喜雄、美術教育の国際的アーカイビングに関する研究、第3回世界華人美術教育大会論文集(中国美術学院)、査読無：招待(中国語訳)、上巻、2012、131-138
- 26 佐藤昌彦、ものづくり教育の倫理に関する研究、第3回世界華人美術教育大会論文集(中国美術学院)、査読無：招待(中国語訳)、上巻、2012、109-115
- 27 安東恭一郎・金政孝、The introduction of digital textbooks in Korea and Japan and expansion of art education by art teachers' communities、韓国美術教育学会誌、査読有、26号、2012、203-230
- 28 安東恭一郎、美術教育と著作権法()・美術授業における同一性保持権と契約論の検討、美術教育学、査読有、33号、2012、1-8
- 29 安東恭一郎、美術教育と著作権法()・美術表現における二次的著作物の検討、大学美術教育学会誌、査読有、44号、2012、39-46
- 30 田和真紀子、語彙から入門する古典教育、文学・語学、査読有、203巻、2012、110-121
- 31 田和真紀子、副詞は「品詞のゴミタメ」

か、国語語彙史の研究、査読有、31 巻、2012、93-108

32 田和真紀子、評価的な程度副詞の成立と展開、近代語研究、査読有、16 巻、2012、87-100

33 山口喜雄・石野健二・茅野理子・中島望・田和真紀子・村松和彦・株田昌彦・本田悟郎、芸術教育文献解題 1、宇都宮大学教育学部紀要第 1 部、査読無、62 巻、2012、149-159

〔学会発表〕(計 55 件)

01 山口喜雄、21 世紀中期の「学校教育課題」と美術科教科書に関する研究、37 回美術科教育学会、2015.3.28、上越教育大学

02 新関伸也、教員養成の高度化に向けた美術教育カリキュラム(2)、37 回美術科教育学会、2015.3.28、上越教育大学

03 一條彰子・奥村高明、国立美術館・博物館の所蔵作品を用いた鑑賞教育の展開「鑑賞教育キーワード map」、37 回美術科教育学会、2015.3.29、上越教育大学

04 佐藤昌彦、次世代ものづくり教育構想におけるフィンランドのものづくり教育の意義、37 回美術科教育学会、2015.3.28、上越教育大学

05 佐藤昌彦、3D プリンターが登場する時代の「ものづくり教育」、37 回美術科教育学会、2015.3.29、上越教育大学

06 安東恭一郎、Digital Contents を活用した鑑賞教育の構想、37 回美術科教育学会、2015.3.28、上越教育大学

07 茅野理子、知的障害教育小学部におけるリズム遊びの実践事例、34 回日本教育大学協会保健体育・保健研究部門全国創作舞踊研究発表会、2015.2.8、筑波大学

08 山田有希子、ヘーゲル論理学の存在論としての可能性について、人文科学研究所哲学ワークショップ、2015.3.10、日本大学

09 山口喜雄、戦後の美術科教科書における掲載作品の研究(16) - 「国際化」と美術

教育に関する考察、48 回日本美術教育研究発表会、2014.10.19、東京家政大学

10 山口喜雄・新関伸也・天形健、アテネ(ギリシャ Greece 共和国)における美術教育事情調査 2014、48 回日本美術教育研究発表会、2014.10.19、東京家政大学

11 山口喜雄、20 世紀後半以降の美術科教科書における「国際化」題材説明文の検討、53 回大学美術教育学会、2014.10.4、福井大学

12 山口喜雄、20 世紀後半以降の美術科教科書における「国際化」題材に関する研究、36 回美術科教育学会、2014.3.29、奈良教育大学

13 奥村高明・他 4 名、来館者が新しい価値を生み出す空間としてのミュージアム、38 回年会日本科学教育学会(招待)、2014.9.15、埼玉大学

14 佐藤昌彦、芸術学会誌『スクールアート』(1949 年創刊)と次世代ものづくり教育カリキュラム構想、53 回大学美術教育学会、2014.10.4、福井大学

15 安東恭一郎・金政孝、Create Infinite patterns By Collaborate Work. Think a variety of patterns using original cardboard、フレネ教育国際会議、2014.7.23、イタリア：レッジョエミア

16 安東恭一郎、美術活動における芸術経験の意味、3 回アジア文化芸術教育国際会議、2014.8.7、韓国：淑明女子大学

17 茅野理子、知的障害教育におけるダンス教材の指導実践と課題について、66 回舞踊学会、2014.11.30、日本女子体育大学

18 田和真紀子、近世前記下見方語の高程度を表す副詞の諸相と体系、近代語学会、2014.12.13、白百合女子大学

19 山口喜雄、戦後の美術科教科書における掲載作品の研究(15) - 「高齢化」と美術教育に関する考察、47 回日本美術教育研究発表会、2013.10.20、東京家政大学

20 新関伸也・天形健・山口喜雄、H・リー

ド卿令息ベン・リード氏への面談調査をめぐって、47 回日本美術教育研究発表会、2013.10.20、東京家政大学

21 山口喜雄、20 世紀後半以降の日本美術科教科書と生涯学習に関する研究、52 回大学美術教育学会、2013.10.12、京都教育大学

22 山口喜雄、「高齢化」に関連する美術教科書掲載作品の研究、35 回美術科教育学会、2013.3.28、島根大学

23 新関伸也、教育実習に基づく「美術教育論文」作成とその意義、35 回美術科教育学会、2013.3.28、島根大学

24 安東恭一郎・福本謹一、美術デジタル教科書先進国の課題と展望、韓国初等教育学会国際学会会議、2013.8.8、釜山教育大学

25 茅野理子、知的障害教育におけるリズム遊びの実践事例、33 回日本教育大学協会保健体育・保健研究部門全国創作舞踊研究発表会、2013.12.21、とりぎん文化会館

26 山口喜雄、20 世紀後半の日本美術科教科書と伝統文化、教育部重点研究基地・中韓台日伝統文化研究国際フォーラム（招待）、2012.12.1、中国上海：华东师范大学

27 山口喜雄、戦後の美術科教科書における掲載作品の研究(14) - 「情報化」と美術教育に関する考察、46 回日本美術教育研究発表会、2012.10.14、東京家政大学

28 新関伸也・山口喜雄・天形健、メキシコ・タスコにおける現地調査による「北川民次」研究の再検討、51 回大学美術教育学会、2012.10.21、大分大学

29 山口喜雄、戦後の美術科教科書における掲載作品の研究 - 「情報化」に関連する題材における説明文の考察、34 回美術科教育学会、2012.3.27、新潟大学

30 新関伸也、鑑賞の授業モデルと題材開発の研究、34 回美術科教育学会、2012.3.26、新潟大学

31 山口喜雄・天形健・福本謹一・新関伸也・奥村高明・中島望・結城孝雄・佐藤昌

彦・安東恭一郎・村上尚徳、芸術教育文献のチカラ、芸術教育文献アーカイビング研究会、2012.1.9、宇都宮大学

32 田和真紀子、中世後期における高程度を表す副詞の体系、101 回国語語彙史研究会、2012.9.29、神戸市外国語大学

33 森田香緒里、文章表現における児童生徒の相手意識と言語調整行動、51 回人文科教育学会、2011.9.3、筑波大学附属中学校

34 山口喜雄、戦後の美術科教科書における掲載作品の研究(13) - 「伝統文化」の記述と掲載作品に関する考察、45 回日本美術教育研究発表会、2011.10.16、東京家政大学

35 山口喜雄、美術教育のアーカイピングとライティングリサーチ、50 回大学美術教育学会、2011.9.25、宮城教育大学

36 天形健、美術教育のアーカイピングとライティングリサーチ、50 回大学美術教育学会、2011.9.25、宮城教育大学

37 新関伸也、美術教育のアーカイピングとライティングリサーチ、50 回大学美術教育学会、2011.9.24、宮城教育大学

〔図書〕(計 5 件)

01 山口喜雄・天形健・福本謹一・新関伸也・奥村高明・中島望・結城孝雄・佐藤昌彦・安東恭一郎・村上尚徳・渡邊弘・本田悟郎・株田昌彦・森田香緒里・田和真紀子・石野健二・茅野理子・渡辺浩行・山田有希子・村松和彦、平成 23-26 年度科学研究費補助金 基盤研究 A 課題番号 23243078、美術教育の世界ドキュメント 2015 + 日本美術科教科書研究 2015 + 芸術教育文献解題ブックレット 2014・2015[英日対訳]、2015、250 (1-88,92-250)

02 山口喜雄・天形健・福本謹一・新関伸也・他 11 名、平成 23-26 年度科学研究費補助金 基盤研究 A 課題番号 23243078、美術教育のアーカイピング&ライティングリサーチ 2014[英日対訳]改訂版、2014、206 (1-79,92-99,160-202)

03 山口喜雄・天形健・福本謹一・新関伸

也・奥村高明・中島望・結城孝雄・佐藤昌彦・安東恭一郎・村上尚徳・渡邊弘・本田悟郎・株田昌彦・森田香緒里・田和真紀子・石野健二・茅野理子・渡辺浩行・山田有希子・村松和彦、平成 23-26 年度科学研究費補助金 基盤研究 A 課題番号 23243078、芸術教育文献解題ブックレット[承]2013[英日対訳]、2013、72 (1-72)

04 山口喜雄・天形健・福本謹一・新関伸也・奥村高明・中島望・結城孝雄・佐藤昌彦・安東恭一郎・村上尚徳・渡邊弘・本田悟郎・株田昌彦・森田香緒里・田和真紀子・石野健二・茅野理子・渡辺浩行・山田有希子・村松和彦、平成 23-26 年度科学研究費補助金 基盤研究 A 課題番号 23243078、芸術教育文献解題ブックレット[起]2012[英日対訳]、2012、80 (1-80)

05 山口喜雄・他 50 名(椎塚久雄・編)、朝倉書店、感性工学ハンドブック - 感性をきわめる七つ道具、2013、607 (428-439) [その他：ホームページ等]

01 ホームページ：芸術教育文献のアーカイビングに関する研究、山口喜雄・天形健・福本謹一・新関伸也・奥村高明・中島望・結城孝雄・佐藤昌彦・安東恭一郎・村上尚徳・渡邊弘・本田悟郎・株田昌彦・森田香緒里・田和真紀子・石野健二・茅野理子・渡辺浩行・山田有希子・村松和彦・他約 100 名、<http://www.ae-archiving.jp/art-e/> (本科研経費による公開 2015 年 3 月末迄)

02 パンフレット：美術教育文献から芸術教育文献にリニューアル[英日対訳]、山口喜雄・天形健・福本謹一・新関伸也・奥村高明・中島望・結城孝雄・佐藤昌彦・安東恭一郎・村上尚徳・渡邊弘・本田悟郎・株田昌彦・森田香緒里・田和真紀子・石野健二・茅野理子・渡辺浩行・山田有希子・村松和彦、平成 23 ~ 26 年度科学研究費補助金 基盤研究 A 課題番号 23243078、2012、1-4

6. 研究組織

(1) 研究代表者

01 山口喜雄 (Nobuo YAMAGUCHI)
宇都宮大学・教育学部・教授
研究者番号：90292573

(2) 研究分担者

02 天形 健 (Ken AMAGATA)
福島大学 人間発達文化学類・教授
研究者番号：90302306

03 福本謹一 (Kin-ichi FUKUMOTO)
兵庫教育大学・学校教育研究科理事・

副学長、研究者番号：80165315

04 新関伸也 (Shinya NIIZEKI)
滋賀大学・教育学部・教授
研究者番号：80324557

05 奥村高明 (Takaaki OKUMURA)
聖徳大学・児童学部長・教授
研究者番号：80413904

06 結城孝雄 (Takao YUKI)
東京家政大学・家政学部・教授
研究者番号：00459596

07 中島 望 (Nozomu NAKAJIMA)
宇都宮大学・教育学部・教授
研究者番号：70292571

08 佐藤昌彦 (Masahiko SATO)
北海道教育大学・教育学部・教授
研究者番号：00281858

09 安東恭一郎 (Kyoichiro ANDO)
香川大学・教育学部・教授
研究者番号：20284341

10 村上尚徳 (Hisanori MURAKAMI)
環太平洋大学・教育学部・教授
研究者番号：10370082

(3) 連携研究者

11 渡邊 弘 (Hiroshi WATANABE)
作新学院大学人間文化学部学部長・教授
研究者番号：90272210

12 本田悟郎 (Goro HONDA)
宇都宮大学・教育学部・准教授
研究者番号：30572424

13 株田昌彦 (Masahiko KABUTA)
宇都宮大学・教育学部・准教授
研究者番号：50515971

14 森田香緒里 (Kaori MORITA)
宇都宮大学・教育学部・准教授
研究者番号：20334021

15 田和真紀子 (Makiko TAWA)
宇都宮大学・教育学部・准教授
研究者番号：30431696

16 石野健二 (Kenji ISHINO)
宇都宮大学・教育学部・教授
研究者番号：20232324

17 茅野理子 (Masako CHINO)
宇都宮大学・教育学部・教授
研究者番号：60125812

18 渡辺浩行 (Hiroyuki WATANABE)
宇都宮大学・教育学部・教授
研究者番号：40275805

19 山田有希子 (Yukiko YAMADA)
宇都宮大学・教育学部・准教授
研究者番号：90344910

20 村松和彦 (Kazuhiko MURAMATU)
宇都宮市立平石中央小学校・副校長
研究者番号：40596061